

平成31年2月21日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

議会改革に関する調査特別委員会
委員長 大藤 克紀

委員派遣結果報告書

本委員会の調査事件について下記のとおり委員を派遣したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日
平成31年1月28日（月）
2. 場 所
岡山市北区駅元町14-1 「岡山コンベンションセンター 404会議室」
3. 内 容
自治体向けICT推進セミナーの受講
4. 目 的
議会改革の一環として、議会資料の省力化と議会審議の効率化に向けてタブレット端末を導入するための調査研究
5. 派遣委員
委員11人（欠席1人）
6. 概 要
(1) 先進自治体特別講演
演 題：タブレット端末を活用した議会運営について
講 師：真庭市議会議員 小田 康文 氏
ア) 導入概要
 - ・平成30年12月定例会から本格運用
 - ・端末は無償（全額市費）で議員に貸与
 - ・通信料は議員個人負担と政務活動費で各2分の1
 - ・使用規定などをルール化、高齢議員も積極的に対応

イ) 主な導入効果

- ・効率的な議会運営（予算書、決算書の紙資料は当面併用）
- ・議員活動の充実
- ・情報伝達の迅速化、情報共有等（スケジュールの問い合わせが激減）
- ・議会事務局、執行部の負担軽減

ウ) 主な課題

- ・執行部とシステムが異なっているため、統一が必要
- ・アップデートのタイミングが議員ごとに異なるため、統一が必要
- ・機能をフル活用した議論の質の向上

(2) ICTとタブレットの活用が広がる議会・防災・働き方改革

内容：ペーパーレス議会システム「SideBooks（サイドブックス）」の概要

講師：東京インタープレイ株式会社 担当者

ア) 導入状況

- ・全国で152自治体が導入（平成31年1月7日時点）
- ・議会と行政の同時導入が増加
- ・端末はipad proが最適（信頼性が高く、採用率90%）
- ・90%がLTE通信（携帯電話で利用される高速通信規格）のみで運用
- ・80%超の議会では維持費等の議員負担なし（議会運営の「備品」扱い）
- ・順次ペーパーレス化が高まる
95%達成の自治体（秋田県横手市：平成28年8月導入）や、ペーパーレス化が困難とされていた「予算書・決算書」のペーパーレス化が30%の状況

イ) 導入に当たっての事例

- ・運用基準を定める（職員とは異なり、議会独自で禁止事項などを明文化）
- ・移行期間を設ける（紙とタブレットとの併用期間を設定）
- ・ペーパーレス化計画を立てる（いきなり完璧を目ざさない）
- ・資料作りを見直す（文字を大きくする、カラー情報を使うという工夫）
- ・執行部と相談する（議員、事務局、執行部の三者の調整）

ウ) SideBooks（サイドブックス）の機能の特長

- ・自然なページめくり（裏面が透けて見える）
- ・拡大したままページ移動（他社にはない機能）
- ・大きなファイルでもすばやく表示
- ・無限階層フォルダ（大量の資料を分類・保管）
- ・メモ機能（色、線の太さ、半透明など多彩な書き込みに対応）
（他に「画面分割」などの機能もあるが、説明や操作体験は割愛された。）

7. 受講に至った背景等

鳥取県内では、江府町議会（平成26年7月）、日南町議会（平成30年2月）が導入済みで、大山町議会が導入を検討中である。

このうち日南町議会では、東京インタープレイ株式会社のシステムを導入しており、本町議会運営委員会の調査（平成30年5月18日）において有効性を学んだことから、今回のセミナー受講に至ったところである。

また、タブレット端末を活用した議会運営については、執行部と一体的に導入することが効果的であることから、今回のセミナーには執行部から1人（総務課の管理職員）が同行して受講した。

8. 受講した委員の意見要旨（重複意見は整理）

（1）感想

- ・タブレット端末を活用した議会運営の有効性は理解できたものと判断される。
- ・端末を指で触れ書類を呼び出してページをめくったり、タッチペンで画面に書き込んだり、操作に戸惑う場面もあったが、担当の方に教えてもらいながら学んだ。
- ・導入議会の導入までの経緯や導入後の課題・問題等を通して、わかりやすい説明と感じた。また、実際にタブレットを使用しながら説明を受けたことで、操作方法や便利さ等を再確認した。
- ・ペーパーレス化に向けて、改めてその意義と効果を確認することができた。
- ・タブレット操作の苦手な私にとって、思った以上にシンプルで使いやすい機能で、議会で導入する際のセキュリティもしっかりしていると感じた。
- ・今後、本町でペーパーレス議会システムを検討していく上で、大いに参考になった。
- ・思ったより扱いやすいと感じた。機能が行政、議会に合うようになっている。
- ・早急にタブレットを導入したいと思う研修だった。
- ・今後の自治体と議会並びに住民との情報連携にICTを活用したネットワークづくりが最早避けられない時代となったと実感した。IT音痴の自分としては、習うより慣れろの言葉通りの使い方での活用したい。
- ・時期尚早の感がある

（2）期待される効果

- ・議員間の情報共有が得られ、議会の活性化や一本化への可能性があるように思われる。
- ・現在のやり方を否定するものではないが、やはり今後の議会運営では、経費や係る多様性を考慮すれば、大部分をペーパーレス化することで、庶務軽減につながると考える。
- ・費用対効果においても、機器のレンタル代や通信費などはかなり高額になることが推測されるが、経費的には紙代、印刷代の削減だけでなく、職員の印刷、製本、配布などの手間と時間の大幅削減が見込まれることから、単純に数値として表れない効果は計り知れないものがある。

- ・本町にとっても、タブレット端末を導入することにより、町長部局の業務負担の軽減だけでなく、より円滑な議会運営に資する事業であると思う。
- ・紙より電子化（タブレット）の方が、書類の整理が楽になる。
- ・必要な資料を短時間で探せ、作業効率が上がることが期待される。
- ・数年前の事業内容や予算を振り返ることも容易になり、現在行う審議の参考資料となり得る。
- ・拡大が容易にできることから、小さい数字や文字、図面などが見やすくなる。
- ・執行部に対し、報告や説明資料の充実を求めやすくなる。
- ・事前に配られた資料を当日忘れ、再度印刷してもらうなど、不必要な印刷の減少につながる。
- ・ペーパーレスになることにより、時間が経過した書類の処分が楽になる（紙資源の減量化にもつながる）。
- ・資料づくり（印刷作業）に対する職員の作業軽減につながる。
- ・資料の差し替えがあった時の対応がスムーズになることが期待される。
- ・自分の本棚に空きスペースができ、部屋が整頓できて嬉しい。
- ・情報の共有が早い。
- ・インターネットによる情報公開と利活用は、願ってもないチャンスと考える。
- ・議会の効率的な運営が期待できる。
- ・議員の個人活動が充実し議員間の情報共有が広がる。

（３）検討を要する事項

- ・導入経費や運営経費等の詳細、費用対効果の検証、使用規定等（以下①から⑤参照）について、議会と執行部双方が調査研究を進め、効率的な議会運営に資するよう早期導入を旨とする必要がある。
 - ① セキュリティ上の懸念（知り得た情報の漏洩防止）
 - ② 使用の範囲…議会以外での使用基準
 - ③ タブレット本体の保管と管理に関する取り決め（議員・執行部）
 - ④ 紛失や故障したときに関する取り決め
 - ⑤ 通信費用のルール化、町費負担か議員負担か
- ・使用者によって利用頻度も異なりスキル差も想定されることから、導入後は定期的な研修も必要。
- ・段階的研修が必要で不慣れな人に合わせる時間が必要。
- ・本来であれば検討事項を全て解決した後に導入すべきだが、慣れるための期間も必要と思うため、その期間を利用し、同時並行して検討事項をひとつずつ解決してはどうか。
- ・当面の間は、予算書と決算書は紙資料も残したほうがいい。
- ・ペーパーレス化によるコスト削減が、タブレット導入後の維持費以上になっていないとの報告があったので、議会としても検証する必要がある。
- ・議会改革の成果へ、行政や住民の理解が不可欠となる。